



碧南ロータリークラブ週報

第2256回例会 平成17年2月16日(水) 晴. 最高7.9℃. 最低4.6℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ



● 斉 唱

ロータリーソング 「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南警察署 生活安全課長 警部	岩田 和彦様
西尾 R C	浅岡 勝行君
高浜 R C	杉浦 誠君



池田弘孝会長

会 長 挨 拶

碧南ロータリークラブにおきましては、毎年福祉事業に対し出来るだけの協力をしているところであります。

年度末になりますと色々と総会などの案内を頂くと、もっと認識をしなくてはと思うことばかりです。ロータリアンの中にはその会の会長を務められたりして、ご活躍の方々がいらっしゃいます。2月19日には碧南市社会福祉大会が行われます。2月27日には当クラブの会員の杉浦勝典さんが会長を務めてみえる「碧南市手をつなぐ育成会」による「卒業生を祝うひなまつりリクレーション」が行われます。いずれもロータリークラブとして出席させて頂くつもりです。

1926年(大正15年)2月15日、今から79年前の今日、ヘレン・ケラーにアメリカのテンプル大学から人文学博士の称号が与えられた日であります。生後19ヶ月の時に原因不明の熱病がもとで、目が見えない、耳が聞こえない、口がきけないの三重障害者となったヘレン・ケラーは7歳のときから、家庭教師のサリバンの献身的な教育と指導と、本人の超人的な努力により、障害を克服してのことです。彼女の言葉に「この世で最高のもの、最も美しいものは見たり触れたり出来ません、心で感じるものです。悲しみと苦痛は、やがて"人のために尽くす心"という美しい花を咲かせる土壌だと考えましょう。心を優しく持ち、耐え抜くことを学びましょう。強い心で生きるために」と全ての人を勇気付ける名言を残しています。当ロータリークラブでは、今年度もポリオプラスへのご協力に感謝申し上げ、本日の挨拶とさせていただきます。

第3回米山奨学会功労者マルチプル表彰



青木 稔君



杉浦 求君

ポールハリスフェロー認証状の贈呈



深世古裕治君

幹事報告

- 他クラブの例会変更につきましては、お手元の資料でご確認いただきたいと思います。
- 碧南市友好親善協会より万博ナショナルデーボランティアの募集の案内がきております。
- 次年度編成表がありますので、見ておいて下さい。
- 地区協議会参加案内

次期（2005～2006）の地区協議会が5月8日に名古屋のウェスティングキャッスル開催されます。皆様多数のご出席をお願いいたします。尚、出席義務者の方は、

次期会長、幹事、会計、会長エレクト、副会長、クラブ奉仕、会員増強、ロータリー情報職業奉仕、国際奉仕、社会奉仕、環境保全、新世代、ロータリー財団、米山奨学の各委員長の方々です。

入会3年未満の方は、勉強の為に是非ご出席ください。

出欠の返事は2月23日までですので、よろしくをお願いいたします。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78名（内出席免除者 14名）出席者 58名	
出席対象者 52/64名	出席率 81.25%
欠席者20名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.46%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 岩田 和彦様 本日、卓話をさせていただきます。
- 新美 真司君 本日の卓話の講師の岩田さんを紹介いたします。
- 新美 惣英君 母葬儀の折には、多くの方々にご会葬ご焼香賜り有難うございました。
- 早退5件 合計27,000円

「振り込め詐欺の対処法」

碧南警察署生活安全課長 警部 岩田 和彦氏

皆さん、こんにちは。本日は、最近多発しています「おれおれ詐欺」等の対処法について、お話をさせていただきます。

以前は、お年寄りの方を対象に息子や孫を名乗ってする「おれおれ詐欺」が多発していましたが、最近は、第三者を名乗りお金を振り込ませるといように手口が変わってきました。今から、実際の電話でのやりとりのCDを聞いていただいて、どのようなものかということを確認していただきたいです。



約10分間実際のやりとりのCDを聞く。

約10分間のやりとりでしたが、聞いていただいて、わかるとおり、相手は、マシンガントークのように次から次へと話し、こちらに考える時間をあまり与えません。なおかつ、専門用語を随所に使い、信用させるように話してきます。大体が、交通事故で示談をするからという内容で電話をかけてきます。警察官、弁護士等になりすまして、話をしてくるものが多いです。昨年ですが、碧南署管内で相談がありましたのは、未遂も含めて、「おれおれ詐欺」が33件、「架空請求」が9件、「融資に関する保証詐欺」が3件の計45件です。

残念ながら、既遂が8件おこっています。主なものは、やはり、交通事故で示談をするからという内容で、被害額は1,500万円にものぼっています。

最近は、交通事故のほかに「ご主人が電車の中で痴漢行為をされましたから、示談金を振り込むように」というもの、また「誘拐をしたから、身代金を振り込むように」というようなものもあります。社会状況に反応して、内容をいろいろと変化させてきますので、騙されないように気をつけて下さい。

これらの被害にあわないようにするには、まず1番目に『確かめる』相手がどここの警察のものですと言ったら、一旦電話を切って、こちらからその警察署へ電話をかけて、確かめる。2番目に『一人で考えない、皆で考える。』家族等で相談して、考える。自分ひとりで判断して、即決しない。3番目に『絶対に振り込まない』本当になにかあっても、当日中に振り込まなければダメということは、ありえない話ですからよく気をつけてください。最近はパソコン、携帯等が普及していますから、様々な手段で連絡をしますが、相手の言葉に踊らされることなく、冷静に対処して被害に遭わないように十分に気をつけてください。

また、昨年ですが、「安全なまちづくり条例」ができました。これは、行政だけではなく、企業、地域の住民の皆様とともに、犯罪を抑止して安全な町を作っていこうというものです。どうぞ皆様のご協力のもと、安全な町にしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

次回例会案内 平成17年3月2日(水)

卓話 「オイスカの植林活動」

(財) オイスカ中部日本研修センター参事 村松 明氏

(財) オイスカ研究員 ジミー ロヨ氏

(財) オイスカ中部日本研修センター指導員 バンバン ウィディヤント氏